

介護の現場に イノベーションを！

《九州大学等との産学官連携》



さわやか倶楽部は、文部科学省が推進している革新的イノベーション創出プログラム(CO-STREAM)の「大学等シニアーズ創出強化支援事業」に九州大学の平井准教授が中心となって提案し、採択された「高齢者の視点からのソーシャルインクルージョンCO-」事業に参画しています。昨年九月から行われている共同ワークショップの様子をご紹介します。



ワークショップのメンバー(前列右から3人目が平井准教授)

平成二十六年九月、九州大学大学院芸術工学研究院デザインストラテジー部門の平井康之准教授を中心にして、ふくおかIST(※1)、FAIS(※2)、さわやか倶楽部のメンバーにて「こんな介護施設あったらいいな」をテーマにグループワーク形式のワークショップが開始されました。

初回は北九州市のさわやかレクサイド中の原にて、「私たちが入居するならこんな介護施設！」というテーマで四グループに分かれてアイデアを出し合い、「生涯、働いて、稼げる施設」「好きな時に好きなものを食べ、好きな時に寝られる施設」「動物と一緒に暮らせる、本やカフェの充実した施設」「働いて、売れて、買える。モデル型「大コミニティ」などが提案されました。さわやか倶楽部ならではの、介護業界にイノベーションを起こすような斬新な提案で、今後に期待がふくらむ内容となりました。

平成二十六年十月、十一月にも、さわやかレクサイド中の原にて、上述のメンバーに加え、アメリカのデザイン会社IDEO(アイデオ)のアメリカ・ジュール氏、九州大学の学生十名が参加し、計二十六名でのワークショップが行われました。四名の入居者様にもインタビューを行い、それぞれの過去の未来についての事柄に触れることができました。

この中でイノベーションの素となるものを発見し、そして生まれたものは、現在「さわやかレクサイド中の原」で実践的取り組みの一段階として実施されています。たとえば「ギネスブック」と「素敵」を合わせ、その方のオンラインワンとナンバーワンを表彰する「ギネス敵ブック」などの取り組みが実際に進められています。ワークショップから生まれた取り組みによつて、入居者様の生活が積極的に大きく変わろうとしています。

また、平成二十六年十二月に九州大学大橋キャンパスにて行われたヘレン・ハムリン・センター・フォー・デザイン(英国)のクリス・マギンリー氏とのコラボレーション発表会では、今までのワークショップの集約がなされ、ケアプランとライフプランの融合により、入居者様の経験をこれからの生活に生かす形が見えてきています。

デザイン分野における九州大学の知識とアイデア、ふくおかIST、FAISによる外から見た介護への想い、さわやか倶楽部の持つ介護のノウハウを一つにして、新しいさわやか倶楽部の介護が誕生することも近いと感じます。(草原 仁美)

※1：公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団／※2：公益財団法人北九州産業学術推進機構

一月十二日 レクサイド中の原のブログより

昨年から行われている九州大学とのワークショップを経て、「入居時の不安」への取り組みを開始しています。

一月十三日に新規入居がある為、入居時の対応をケアマネージャーと一緒に行うことになりました。マニュアル作りの為、対応して下さる村山様と梶山様から意見を頂き、「写真が小さいとチラチラして見えにくいね」「行事の紹介を入れたら精神的にもゆとりが持てるんじゃないか？」等の貴重な意見を頂くことができました。(写真1)

完成したマニュアルです。(写真2)自分達で書き込みもできますよ。

入居当日、新しい方を迎える準備の為、入居シミュレーションです。立石ケアマネージャーが新規のご入居者様役を演じます。名刺にて自己紹介、もちろん笑顔は忘れません。(写真3)入居フロアだけでなく、館内全体を紹介しますので、その間で会話も弾みます。(写真4)

館内案内の後、施設行事のご紹介です。写真を見て頂きながら、「楽しそう」と不安が期待に変わるようになって下されば大成功。お二人は行事等のご参加率が高いので、実際の経験も伝えることができ、説明もお上手でした。

初めて施設をご利用されるお客様にも、安心できる環境が整っておりますので、どうぞご安心してお越し下さい。私達がお待ちしています。(小林 さおり)



4



3



2



1



第22回 特別講演会

ウチャマグループ

坂本光司教授を迎えて

平成27年2月5日、北九州市のステーションホテル小倉にて、第22回目となるウチャマグループ主催の特別講演会を開催しました。講師には、法政大学大学院政策創造研究科教授の坂本光司先生をお招きしました。坂本先生は、これまで日本全国で7000社を超える企業調査・研究を行い、その中から特に社会貢献度が高く業績も良い会社を著書や講演の中で紹介されています。代表作の『日本でいちばん大切にしたい会社』は、発刊以来10年で70万部のベストセラーとなっています。当日の講演では、障害者を多く雇用して社会の中で活躍できる場を創造している企業や、世界の貧しい地域に対してビジネスを通じて積極的に支援している企業が紹介されました。

講演会場には、一般の申込者に加えてウチャマグループ取引先の方々、さわやか倶楽部の施設の入居者様など、多くのお客様が足を運びました。本社や各施設の職員も多数参加して、会場の設営やお客様の対応にあたりました。講演の終了後には、坂本先生による著書のサイン会を行った後、第二部として坂本先生を囲んでの懇親会がアサノパティオに会場を移して行われ、たいへん盛況となりました。

ウチャマグループでは今後も地域の活性化を目的として、講演会を継続して開催する予定です。



制作担当者

せいとう

さわやか清納館／戸澤 義孝さん

昨年も自信作で期待していましたが惜しくも3位に終わりました。今年は1位を獲得できて大変嬉しく、材料の調達等に協力頂いた職員の皆さんに感謝しています。前年に使用した材料が一部再利用できる為、今回の調達は松、竹、梅、千両、万両、葉牡丹（紅白）、縄、装飾小物だけでよく、竹以外はホームセンターにて購入できました。竹はさわやか鳴水館の敷地の竹林で切らせて頂きました。意外と大変だったのは竹割りです。節目の入れ方、竹の大小があるため、幅をそろえて用意するのに時間と労力を要しました。特に苦戦したのは「そぎ」と呼ばれる竹を斜めに切る作業でした。最初はノコが横に飛びやすく、優しく引かないときれいに切り込みが出来ませんでした。とても神経を使った作業でした。門松は年神（としがみ）様を家に迎え入れるための依り代（よりしろ）という意味があるそうです。生命力、不老長寿、繁栄の象徴として、清納館にとって最良となる一年のスタートができたことに、深く感謝申し上げます。

さわやか倶楽部施設対抗

門松コンクール2015

毎年恒例！門松コンクールTOP3を発表いたします！！



1位 さわやか
清納館
[福岡県北九州市]



2位 さわやか
いわつき館
[埼玉県さいたま市]



3位 さわやか
こすもす館
[福岡県久留米市]

キラリ★一等星

キラリと輝くスタッフをご紹介します！



STAR No.86

さ え み
林 冴江美さん 26歳

株式会社さわやか倶楽部
さわやか室蘭館／生活相談員

大学卒業後、介護現場に入りたいーと思い、他社のデイサービスに就職しました。毎日が勉強でとても充実していましたが、そこには会社の決め事が出来上がっていて、ジレンマを感じることもありました。そんな時にさわやか室蘭館のオープニングの知らせを目にしました。一から自分たちで立ち上げていく事はすごくやりがいがあるだろう、土台を作るといことでオープニングに挑戦してみたい！ここしかない！という思いで直接本社へ電話しました。その後、松崎施設長からお電話を頂き、わざわざ私の為に旭川より面接に来て頂けました。

オープニングスタッフとして入社させて頂き、最初はプレハブ小屋での仕事や営業活動からのスタートでした。それが、今や大きな立派な建物で仕事をさせて頂き、営業の成果なのか入居者様もシヨートステイの利用者様も増えてきています。「ここは楽しいよ」「スタッフさんがいるんなことをやってくれるから家で一人にいるより楽しい」と言いつて頂ける度に、ここで頑張っている良かったと思えます。

現在はシヨートステイをメインに業務を行っています。契約やアセスメントなどに伺い、料金や施設の説明を行ったとき、ご家族様やご本人様に「林さんで良かった」と言いつて頂けることが何より嬉しいのです。また、施設に見学に来られご案内をした方から「先日は話を聞いて頂きありがとうございました」とお手紙を頂いたことがあります。

ました。少しでもお役に立てているのかと思う、とても嬉しかったです。

今はまだ契約や計画書作成など自分の仕事をこなすことで必死になっていますが、仕事ができるようになって時間を作れるようになったら、フロアに上がって入居者様や利用者様とともに関われるようになります。また、フロアのスタッフとも関わりを持ち、信頼関係を築いていきたいです。行事や外出レクにも積極的に参加している相談員になりたいです。

お休みの日は友人と過ごしたり温泉に行ったりしてリフレッシュしています。料理やお菓子を作るのが好きなので、ハーブを栽培して料理に使ったりして、時間を見つけては台所に立つようになっています。最近の目標は何度も失敗しているマカロンを成功させることです。

私は大学の卒業論文で「笑い」について論文を書きました。いろんな本を読み、NK細胞のことや笑い療法のことを調べ、笑いに關しての学内アンケートをとり、笑うことで人間の身体にどのような影響があるのかを調べました。その結果、笑いは人を元気にさせてくれるということを知りました。私がこの介護の仕事が大好きなのはたくさんさんの笑顔を見ることが出来るから、引き出すことが出来るからです。人と人が接して笑い合っていることはとても意味のあることだと思います。大学で研究したことを忘れずに、入居者様の笑顔を引き出せるような相談員でありたいです。



人生最後の靴

徳武産業株式会社

代表取締役 十河孝男

数年前、ある施設から東京営業所に「歩けない人に靴を売るとはけしからん」とクレームがあり、たまたま東京に来ていた私は社員と一緒にその施設へ伺いました。話を聞くと、九〇歳を過ぎたおばあさんが、足が不自由で車イス生活なのにもかかわらず、靴を買ってくれたということでした。

私は思い切つて、「どうして靴を購入いただいたんですか？」とおばあさんに聞いてみました。

するとおばあさんは、「うちの施設で、私と同じくらいの歳の人が気持ちよく歩いている姿を見てたら、歩きとなったんや。そんなときに、この靴がな、「おばあさん、私を履いて歩こう。きつと歩けるよ」と言つて呼びかけてくれたんや」と言われました。それで、靴を買ったということでした。

私はありがたいなあと思い、「歩けるようになると思いますね」とお伝えして施設を後にしました。

それから半年ほど経った頃でしようか。その施設の方から、「奇跡が起きました。あのおばあさんが立ち上がつて、本当に少しですけど歩けるようになりました。ぜひ見に来てあげてください」と連絡が来たのです。

そこで私はその施設へおばあさんの様子を見に行かせてもらいました。おばあさんはシルバーカーに必死で掴まり、一、二センチぐらいずつ、間違いなく歩いていました。

そして、私を見ると満面の笑みで迎えてくれ、「ありがと、ありがと」と言いながら私の手を握り、ボロボロと涙を流されました。

ピンクの靴を嬉しそうに履き、自慢気にされているおばあさんは、「自分の足で歩ける。ただそれだけけど、私にとつてこれほど素晴らしいことはないよ」と言つてくれました。

それから一年半、おばあさんは元気に歩き、一週間ぐらい寝込んだ後、亡くなられたそうです。

施設の方の御厚意で、「あゆみシューズ」を一緒に棺の中に入れていただきました。

我々は、まさに人生最後の靴を作っているのだと思います。そして、その責任は重いと感じています。

(みやぎ中央新聞 二〇一五年二月九日号)

「一歩を踏み出すとき」より抜粋

BEST 日報賞



うこん

右近 成美さん

コロッケ倶楽部 佐賀駅前店
佐賀県佐賀市

高校入試があっていたのか、午前中から学生の来店が普段に比べて多く、一時は満室になったりしましたが、その後は普段どおりの営業となりました。常連のお客様もちらほら見られ、あるお客様に「あなたの顔が見れてよかった」と言って頂きました。顔を見ただけでお客様が喜んで下さったことがとても嬉しく感じられました。これから業務に取り組む際にも、一人でも多くのお客様から良かったと言って頂けるように笑顔と元気のある声を忘れずに接客していきます。お客様の笑顔が私の活力となり、お客様が笑顔になれるように、まず自分から笑顔でいようと思います。

立花館に入居されていた下岸様の娘様が、花瓶や花器などを寄付して頂くために来館されました。立花館の入居で関わらせて頂いてから8年程になります。お父様、お母様が入居して頂き、どちらもご逝去されたので現在は直接の関係はないのですが、施設が変わった今でも連絡を頂けます。まだコーヒークップのセットなどもあるので持ってきて頂けるとのことでした。そして、施設の入居状況などを話すと、パンフレットを持って行ってご自宅の近くにポスティングまでして下さいとのこと。とてもありがたく、応援してくれる方のためにも頑張ります。



田中 秀和 施設長

さわやか立花式番館
福岡県福岡市

両親へ、感謝の気持ちを込めて…

産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。



なしまちさと

南島 千里さん

さわやかこすもす館
福岡県久留米市

私がこうして23年間、健康な体で生きてこれたのは、お父さん、お母さんのおかげだと心から感謝しています。しかし、なかなか直接言葉で伝えることが今となると恥ずかしく、「産んでくれてありがとう」と素直に言えない私がいいます。私は鳥取県で生まれ、中学3年生の9月まで鳥取県で育ちました。母は福岡県、父は鳥取県の生まれです。結婚するときは父方のお父さんに随分と反対をされたそうですが、二人は反対を押し切り、兄と私が産まれたそうです。

父は昔から怒ったことがなく、常に優しいお父さんでした。よく家族4人でボーリングに行ったり、カラオケに行ったりしたことを今でも覚えています。母は厳しく、学校の宿題をしない私をよく叱ってくれました。私が小学3年生の時に母が家を出ていき、不安になった私は毎日のように「お母さんはいつ帰ってくるの？」と祖父に泣きながら尋ねていました。母親がいない寂しさから、友達の家族を見て「羨ましいなあ」と思っていたことを、今でもよく覚えています。それから6年間の月日が流れ、遂に母と父は離婚することになりました。いろいろ考えた結果、私は母に付いて一緒に九州に行くことになり、鳥取の父のもとに残ることとなった兄とは、離れ離れになってしまいました。

その頃の私は、中学3年生でちょうど高校進学を控えている時期で、慣れない環境に苦しみながらもなんとか高校に入学することができました。しかし、進学してからは友達との遊びに夢中になって学校に行かなくなり、高校1年の冬に中退してしまいました。家に帰らず、日に日に母への反発も強くなり、迷惑ばかりかけていました。今になって考えると、申し訳ない気持ちと恥ずかしい気持ちでいっぱいです。

そんな私も去年の10月に結婚し、苗字が変わりました。まだ子供はいませんが、いつか子供を産んで笑いの絶えない家庭を築いていきたいと思っています。今までは親のありがたみについて思うことも、口に出すこともありませんでした。でも結婚して「今の私があるのは親のおかげなのだ」と素直に思えるようになりました。お母さん、今まで困らせてばかりでごめんなさい。そして、生んでくれてありがとう。

私は今、お母さんが2人いて幸せです。もう一人のお母さんとは、夫のお母さんのことです。職場では主任、家に帰ればお義母さん、嫁・姑のような感じが一切なく、本当のお母さんのように接してもらっています。いつも優しく相談に乗ってくれて、本当に感謝しています。そして私の愛する旦那様を生んでくれてありがとうございます。こんな私ですが、これからも何卒よろしく願い致します。



ハートピア明礬&別府の里

「春プラン」まもなく登場!

大分県は豊かな天然自然に恵まれています。その最大の恩恵は、火山活動が生み出した日本一の源泉数と湧出量を誇る温泉です。泉質も豊富で、地球上にある11種類の泉質のうち、放射能泉を除く10種類泉質が楽しめます。

さわやか倶楽部の宿では2種類の泉質、硫黄泉、炭酸水素塩泉を堪能出来ます。個性豊かな温泉にゆっくり浸かって日常を忘れてみませんか。温泉好きな方、リフレッシュしたい方、綺麗になりたい方、のんびりしたい方、お友達や恋人、家族とほっこりしたい方、そんな皆様をお待ちしております。

3月からはいよいよ春プランの登場です。日本一のおせんべい県おいたは味力も満載です。海の幸も、山の幸も豊富です。全国ブランドの関あじ・関さばをはじめ、豊の活きぶり、臼杵ぶぐ、城下かれい、豊後牛、しいたけにかぼすと、大分はまさに味の宝庫です。

さらに、とり天、からあげ、日田やきそば、別府冷麺など個性豊かなB級グルメや、りゅうきゅう、鯛めんといった郷土料理など食のバラエティーにも富んでいます。

ハートピア明礬、別府の里では春爛漫のお料理をご用意致しました。心身ともに癒されににおいで下さいませ。従業員一同心よりお待ちしております。(小野 雅幸)



さわやかハートピア明礬



さわやか別府の里

明礬温泉
さわやかハートピア明礬

大分県別府市大字鶴見1190番地の1

Tel.0977-66-1321

プランの詳細はウェブでもご確認いただけます!

別府温泉
さわやか別府の里

大分県別府市堀田4-2(堀田温泉)

Tel.0977-26-1117

www.sawayaka-hotel.jp



ソフトバンクニュース

家族みんなが嬉しい! お得な「家族の学割25」

みなさんこんにちは。春の足音が日々近づき、春の到来を待ちにされていることと思われます。ソフトバンク香春口店も毎日明るく元気に営業致しております。

今回ご紹介のキャンペーンは「家族の学割25」です。新規ご契約で25歳以下の方なら、学生さん以外でもお申し込みの出来る大変おトクなキャンペーンです。

さらにご家族の方が他社ケイタイからの「のりかえ」で同時にご契約されますと、それぞれ毎年19,440円、ご家族4人で毎年77,760円おトクとなります。大変おトクなキャンペーン見逃すわけにはいきませんね! みなさまのご来店心よりお待ちしております。(谷口 清流)

お子様が25歳まで 家族全員
ずーっと割引
25歳以下のご家族と一緒にのりかえすると
家族4人で
毎年**77,760円**相当
おトク! もちろんお子様は新規加入でもOK!
毎月の通話料 540円割引 データ量毎月1GBプレゼント

TVCMでもおなじみの
家族の学割25!
おトクなキャンペーンで
家族みんな
HAPPY♪

SoftBank ソフトバンク 香春口店
福岡県北九州市小倉北区江南町3-1 内山第27ビル1F

お気軽にお電話ください

Tel.093-951-3266 【営業時間】
10:00~19:00



ディナーショー 3月 inアサノパティオ



●曲目予定
枯葉/イバネマの娘/CHARADE
STARDUST/インスト 酒とバラの日々等
Lover, come back to me/SWAY
The days of wine and roses etc

山口 葵

[ベースとピアノのトリオでの演出となります]

6歳よりクラシックピアノ、フルートを学び、12歳で渡辺プロダクション・東京音楽学院のオーディションに合格。特待生として歌とダンスを学ぶ。14歳より兄の影響でジャズに親しみ、独学で歌い始める。16歳で九州産業大学・ダッキージャズオーケストラのリサイタルにゲスト出演。

近年は、2009年から3度にわたり単身渡米、ニューヨークにてNancy Marano氏に師事。ボストン在住のジャズピアニスト・竹中真氏よりジャズ理論を学び、Barry Harris, Jay Clayton, Marion Cowingsらのワークショップに参加。帰国後、世界的に活躍するピアニストBill Mays氏と2枚のCDを制作、音楽評論家・湯川れい子氏に絶賛される。また、2011年は東日本大震災支援のチャリティイベント(全7回)を友人らと共に企画し、約70万円を民間ボランティア団体に寄付。とくに震災から半年の節目である9.11には西南学院大学コミュニティセンターにて音楽・ダンス・トークのコラボレーションによるチャリティコンサートを主催。自らも、タップダンスの草分けである中野ブラザーズ・中野章三氏と共演、好評を博した。2012年おこなった第1回ジャズコンサートのスペシャルゲストとして演奏。

〜 2008年、第28回・浅草ジャズコンテスト・ボーカル部門銀賞。
受 2012年・岡崎ジャズストリート・ボーカルコンテストにてグランプリ。
賞 第32回・浅草ジャズコンテスト・ボーカル部門にてグランプリ。
歴 2013年、第14回神戸新聞地ジャズボーカルクイーンコンテストにて、準グランプリ。
〜 第8回・さいたま新都心ジャズボーカルコンテストにて、準グランプリ。

2015.3.19

デザート・フルーツも
食べ放題!!

1st stage.

開場 17:45(dinner)
演奏 18:30~19:30

2nd stage.

開場 19:50(dinner)
演奏 20:30~21:30

バイキング形式 **6,000円**

お一人様

[ディナー・ドリンク・ショー・税金・サービス料金込]
・3drink(ビール・ワイン・ソフトドリンク)付き

Beer Rest & Karaoke
ASANO
Patio
福岡県北九州市小倉北区
浅野3丁目3-28
Tel.093-533-1888
Fax.093-533-7307

※無料駐車場(アサノパティオ立体駐車場)をご利用下さい。

さわやか
みなと館
新潟県新潟市

セブンイレブン

セブンイレブンさわやかみなと館店オープン。新しく入居された方をお誘いしました。「コートいるかね?」「靴はこのままでいいかね?」とても心配されています。エレベーターが1階に着くとびっくり。「ここでかね、おら、外行くのかと思ったよ。」とても、安心されてお買い物を楽しめました。待ちに待ったセブンです。

「今日のおやつは何にしようかな?」「おれは、コーラが好きでね。」「ほんとにここはセブンイレブンなのかね。」不思議そうにたくさん買われていました。(門倉 英次)



さわやか
にいはまかん
新居浜館
愛媛県新居浜市

昔を思い出して



最近のデイサービスでは、皆様「昔懐かしい事」をよくされています。左上の写真は「あやとり」です。「どないやってしよったんかいねえ」「こおやって」と昔を思い出しながら会話をしたり、手を動かしたりしてなかなか盛り上がりました。

右上は「駒回し」です。「昔はね、子供らで皆でまわしよったんよ」「コツがあるんよ」と体を張って教えて下さいました。

右は「げんこつ飴作り」の様子です。水あめに黄な粉に出来上がりの味は皆様口を合わせて「懐かしい味やねえ」とほっこりしました。昔遊びを通じて皆様の子供の頃の事や時代を伝えて下さっています。ほっこり。まったりする瞬間ですね。まだまだ私達の知らない遊びが、いっぱいありますよね。また教えて下さいね。(渡川 愛美)



各施設からのお便りを集めました!



さわやか だより



さわやか
ひがしかぐらん
東神楽館
北海道上川郡

寒さを楽しむ

東神楽館では屋外の寒さを活かした取り組みをしています。

《その1》牛乳パックを再利用し、たくさんのアイスクューブを作成しています。アイスクューブは何個も積んで、ろうそくを灯すようにしています。風の強い日は、火が消えてしまったり、日中の気温が高い日には解けてしまうなど、うまくいかないこともあるため、すべての条件が揃ってろうそくを灯すことができるのは、奇跡です。

作り方としては…朝食時に提供している200mlの牛乳パックを回収し、水を入れます。屋外に一晩から二晩放置します。牛乳パックから取り出し、アイスクューブの完成です。

《その2》牛乳パックと造花を利用し、氷オブジェを作成しています。冬の屋外は、雪に覆われるため、白一色です。凍らせた造花は、太陽の光を浴びてキラキラして、とてもきれいです。

作り方としては…1Lの牛乳パックに、一度沸騰させた水を入れます。一度沸騰させた水は、不純物が取り除かれて透明感のある氷ができます。その中に造花を入れ、わりばしで造花が浮いてこないよう中心になるように固定します。屋外に一晩から二晩放置します。牛乳パックから取り出し、氷オブジェの完成です。

入居者様はじめ、来館されるお客様にも大変喜んで頂いています。アイデアを出し合って、より一層楽しんで頂けるよう継続していきたいと思っています。(金子 治代)





行ってきました、 どんど焼き!



玄関周りに飾っていましたが、しめ縄や門松(解体したあと)を近くの荘八幡神社(しょうはちまんじんじゃ)のどんど焼きに持って行き焼いて頂きました。意外と多くの方がおられたのでお連れしたご入居者様も驚かれていました。



神社に到着すると「おもち」と書いた貼紙があったので何かと思い近づくともみくじを渡してくれます。そのおみくじを開くとくじになっていて、今回は皆様5等でジュース1本とお菓子をもらったそうです。おもちは長い竹を貸してくれ、その先に刺してどんど焼きの火で焼いて食べます。皆様ご利益があると信じ、ありがたく召し上がられました。

今年初めて行ったどんど焼きでしたが、お連れしたご入居者様から楽しかったと感想頂きましたので、来年もなるべく多くの方をお連れしようと思いました。(中山 薫)



お雛様 飾りつけ



3月3日はひな祭りですね。早めにひな壇を飾って頂き、少しでも長く楽しんで頂こうと、今回は、デイサービスの利用者様に手伝って頂きました。昔、自宅で飾っていた時を思い出されながら「このお人形は、こっちよ」「先に屏風から出しましょう」などお互いに声を掛け合われながら写真を見て飾っていました。

ひととおり飾りつけも終了し、最後に記念撮影をさせて頂きました。ニコリ笑顔の写真が撮れました。夕方の送迎の帰りに、ひな壇の前を通るのですが、皆様、口を揃えて「立派にできたね～」と言われていました。玄関に入ってすぐのところに飾っていますので、ぜひ見にいらして下さい。(行徳 温子)



保育園児 との交流!



だきしめ保育園の年長クラス「そらぐみ」25名の園児が交流に来館!年長クラスなので、歌もとても上手でした。「翼をください〜♪」本格的です。入居者様と一緒に楽しくダンス。そらぐみの園児の皆さんから素敵なメッセージカードをプレゼントして頂きました。

入居者様も嬉しそうな満面の笑顔です。入居者様と作ったお雛様の菜(しおり)をお礼にプレゼントしました。園児たちは喜んでくれて良かったです。最後に、皆で記念の写真をにっこり撮りました。春からは小学生になるそらぐみさん、今日は、元気パワーをありがとうございます。元気に大きく成長してくださいね。(野村 美由紀)



節分 〜豆まきだあ〜



2月3日は節分の日という事で中原館にも鬼がやってきました。これはまさに、ご利用者様が鬼に襲われかかれています。それではいざ豆まきの開始です。皆様、鬼におかって「鬼は外〜福は内〜」小袋に入った豆を鬼に向かって投げております。皆様、真剣にされております。中には小袋に入った豆をつまみ食いしている方もいました。『美味しいよ』ととても笑顔で答えられていました。

豆まきの後は皆様と一緒に作った鬼のお面と一緒に記念撮影です。職員の変顔に皆さま笑顔で笑われておりました。個性あふれる鬼の面ができて楽しい豆まきになりました。豆まきの後は、ご利用者様と一緒に節分に関するクイズです。とてもためになり、勉強になる節分クイズでした。とても楽しい節分になりました。これで中原館も今年1年いい年になるかなと思うこの頃でありました。(福岡 愛)





Message from President

ウチヤマグループ代表 内山 文治

利他の心と人生観

北九州市制五十周年を記念して昨年からスタートした「北九州マラソン」の第二回大会が、平成二十七年二月八日に開催されました。四二・一九五kmのコースを一万人のランナーが走る様子は、見る人に感動を与え、今後の北九州市の発展を期待する思いが湧き上がってくる光景でした。ウチヤマグループも地域貢献の一環として、公式スポンサーに名前を連ねていました。ランナーとしても九名が参加して八名が完走、特に本社の山本専務とさわやか鳴水館の上田君は四時間を切るタイムで走り切りました。「素晴らしい一言です。さらに、スタート地点から一〇km付近のJR枝光駅前では、当社グループで給水所の運営を任せて頂きました。日曜日で多くの社員が休みを取っているにもかかわらず、頑張っている仲間を応援し、地元の大イベントを盛り上げようと、六十名以上がボランティアとして自主的に参加してくれました。給水所の運営についてはスポンサーに名乗りを上げた当初から聞いていましたが、私から特に参加や応援をお願いすることはせず、社員達の自主性に任せていました。私は、大きな経営方針として「社会貢献」が大切だと常に話していますが、社員の皆がそれを理解して実行してくれている姿に、成長を感じて嬉しくなりました。「北九州マラソン二〇一五」の成功に心よりお祝いを申し上げます。

今月の推薦図書で紹介している稲盛和夫氏の「成功の要諦」は、経営者としての在り方、考え方の基本を改めて勉強できる素晴らしい本でした。正しい行いをする判断基準は、その人が持つ「人生観」であり、レベルの高い人生観を持つためには「哲学」が必要です。その哲学というのは、損得勘定でもなければ戦略戦術論でもなく、人間として正しい道を歩くということです。経営者として、事業を始める時、事業を継続・中止する時など、決断が必要な場面は多くあります。このような



ときの判断基準を稲盛氏は「動機善なりや」「プロセス善なりや」という言葉で表しています。今でもよく思い出すのが介護事業を始めた時のことです。今では当社グループの基幹事業に成長した介護事業ですが、グループの中では後発の事業です。私個人として最初に介護に関わったのは、社会福祉法人八健会を設立し、ケアハウスの運営を始めた平成十年のことです。その頃の当社は、創業からの貸しビル業が不動産バブルの崩壊によって大きな痛手を受けた後、新規事業の力ラオケ・飲食事業の成長で、ようやく危機を乗り越えたところでした。私は子どもの頃から「医者になって世の中の役に立ちたい」という思いをずっと持ち続けており、家業の都合で医者になれなかった心残りを、人生の大先輩にあたる高齢者の介護という形に変えて、社会に貢献したいと考えるようになっていました。今までやってきた事業とは全く異なる業種で、しかも社会福祉法人の設立には多額の寄付が必要とあって、周囲からは猛反対されました。しかし自分の信念を通して反対を押し切り、個人資産約二億円を寄付して施設を作ったことが、今の介護事業の基盤となったのです。この頃のことを思い返すと、「動機善なりや」という言葉が少しは当てはまっていたのではないかと思います。

後に株式会社さわやか倶楽部を設立し、全国に介護施設を展開していく中で、職員自らが考えながら、介護という「究極のサービス業」を担う自覚を持つて行動してくれていることを、最近は特に感じるようになってます。ウチヤマタイムズの昨年十二月号で、大阪の「さわやか住吉館」で開催した症例発表会の様子を掲載しました。この時紹介したのは、脳梗塞の発症後に入院生活からリハビリ期間を経て、他社のサービス付き高齢者向け住宅に入居されていた方の事例でした。ご本人の介護拒否や暴力行為が原因で、住んでいた施設から退居を迫られている方を、いかに受け入れて、いかに改善したのかを外部の方に向けて発表した内容でした。症例の改善には、技術的な指導や専門的な知識も必要ですが、この企画を担う船井総合研究所の橋本和樹先生とさわやか住吉館スタッフが決めたテーマは「やさしさを伝える認知症ケア」です。介護に必要なものは、知識・経験・資格・技術等、多くありますが、私は最終的にはすべて「やさしい心」に行きつくと思っています。職



員がそれを感じて実践してくれていると聞いたときに、全国で六十一施設を開設し、現在も八力所が工事中と拡大している介護事業において、プロセスとしての善がしっかりと理解されていると実感できました。

さわやか住吉館で取り組んだ症例の改善は、生活困難なお客様に対して、職員が純粋な「利他の心」で取り組んだ成果です。この「利他の心」が生んだ一件の成功事例は、次々とプラスの連鎖を引き起こしています。まず住吉館では、退職者が減少しました。各自が介護職員としての可能性を実感し、それを外部機関に発表することにより自信がついた結果だと思えます。そして、入居を希望するお客様が増えてきました。症例の改善状況を外部の方へ発表することにより、同様の悩みを抱える方へ情報が届くようになった為です。さらに、第二、第三の症例改善に取り組んでいる住吉館に習って、当社の他施設でも同様の動きが生まれています。先日三重県にある「さわやかシーサイド鳥羽」で、口から食事をとるのが困難だった入居者様に対し、改善に向けた取り組みを職員が始めてからたった三日で、はつきりとした改善がみられるようになったということも聞いています。善因は善果を生み、悪因は悪果を生むという「因果応報の法則」は皆さんもよく存じでしょうが、私はさらに善因が生んだ善果は、波紋となって広がり、繋がっていくと考えています。私達が生まれてきた人生の目的は、世のため人の為に尽くすことです。利他の心を行行動の規範とし、感謝の思いと共に生きていきましょう。自分と関わる人々の笑顔と喜びが、必ず自分の幸せにつながっています。

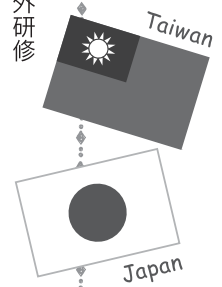
日本人の誇り

今年もボナールのカラオケ・飲食部門を対象とした海外研修旅行を行いました。今回は二泊三日で台湾を訪れました。平成二十三年にボナールの海外研修で台湾を訪問した際は、台北市内と近郊のみの観光でしたが、今回は日本の新幹線の車両が走っている台湾高速鉄道を利用して、高雄まで行きました。

二日目に、一人の日本人が神様として祀られているという、台南市にある「鎮安堂(ちんあんどう)・飛虎將軍廟(ひこしょうぐんびょう)」を訪問しました。

太平洋戦争真っ只中の一九四四年十月十二日、当時日本の統治下にあった台湾も激しい戦場となっていました。台南市上空から米国軍が空襲を行い、迎撃する日本の零戦との空中戦になりました。そのうちの一機の零戦は、米軍の戦闘機に果敢に迎戦するも、数で勝る相手に弾を受けて急降下していききました。行く手には大きな集落があり、台湾の人達は撃墜された戦闘機を見て、自分たちの家に落ちてくるのではないかと心配しながらその様子を見ていました。しかし、戦闘機は墜ちそうになると、機首を上げ飛び、また墜ちそうになると機首を上げて飛び、そうやって町から外れた方向へ向かいました。パイロットは最後の力をふりしぼり、飛行機を人家のない畑の中へ誘導したところで脱出しましたが、パラシュートを打ち抜かれて落下し、戦死しました。もつと早く飛行機を飛び出して逃げるチャンスはあったにもかかわらず、台湾の人々を巻き添えにしないために、自分の身を犠牲にして多くの人々の生命を守ったのです。

その日本人兵士の軍靴に「杉浦」と書いてあり、後にその人物が杉浦茂峰少尉であつたことがわかりました。台湾の人たちは、命がけで自分たちの街を救ってくれた恩人に感謝の気持ちを捧げる方法として、杉浦少尉を「飛ぶ虎のような將軍」という尊敬の意味を込めて「飛虎將軍」と名付けて祀ったのです。死ぬ直前まで、人々を思いやる心を忘れなかった杉浦少尉に対し、現地の人達は感謝の気持ちを忘れないように、戦後七十年を経た今でも毎日一日も休まず、「飛虎將軍廟」で供養が続いています。朝六時に『君が代』を、夕方五時に『海ゆかば』という軍歌を歌い、そして、煙草が好きたった杉浦少尉のために一日二回、七本の煙草に火を灯し、感謝の意を





表しているそうです。

私もボナーの社員たちや、同行して下さった取引先の方々と一緒に、その飛虎將軍廟で君が代を歌いました。日本人としての誇りを最期まで忘れず、国を守るために命を賭して戦った先人の大和魂に思いを馳せていると、気付いたら目に涙が浮かんでいました。それは、杉浦少尉の思いやりと命懸けの行動をたたえ、毎日欠かさず供養を続けてくれている地元の方々に対する感謝の涙でもありました。台湾には過去に何度も行ったことがありましたが、このような素晴らしい場所があったことは今回の旅行で初めて知りました。

その次に、鳥山頭（うざんとつ）ダムを訪れました。日本統治時代の一九三〇年に完成した、当時としては世界最大のダムでしたが、これを作ったのは日本人の八田（はつた）興一（よいち）という人物で、台湾では教科書にも載っている有名な方です。台湾一広い嘉南平野は当時、水事情の悪さから作物がほとんど取れず、乾季は日照りで飲み水もなく、雨季には洪水が絶えず起きる、いわば、不毛の土地でした。そこにダムを建設することで、その周辺に住む人々の生活はとても安全で豊かになりました。八田さんは一九四二年、五十六歳で亡くなるまで、生涯を台湾のために捧げたのです。この功績が評価されて、毎年、八田さんが亡くなった五月八日には盛大に追悼式が行われています。ダムのそばには、八田さんの銅像やお墓も作られています。台湾に行つて毎回感じることは、現地の方々が全体的にたいへん親日的で、私たちが日本人とい

うだけで好意を持つてくださる方が多いということです。今回の旅行では、現地の老人ホームを見学する機会がありました。そこに入居されていた女性の入居者様は、私たちが日本人だと分かると満面の笑みで迎えてくれ、日本の統治時代に教えられた日本語で親しみを込めて話しかけてくれました。東日本大震災が発生して、日本全体がたいへんな悲しみに包まれていた時も、真っ先に支援を表明し、世界各国の中で最大の二百億円の義捐金を送ってくれたのも台湾の人々でした。実際に台湾に行き、先人の偉大な功績に触れる中で、私たちの大先輩が台湾の人々のために心を尽くしてきたことが、現在の友好関係に大きく影響していることを、今回の研修旅行で実感することが出来ました。そして、日本人として生まれたことに、誇りを持つて生きていかなければならないと改めて思いました。

最近では義務教育の中でも「君が代」を教えない地域が多く、国歌を歌えない子どもが増えているそうです。グローバル化が加速度的に進んでいる世の中で、子どもたちが自分の国に対して誇りを持ち、日本人であるということに自信を持つて堂々と生きていくことが、世界の中で日本の存在価値を示すのに欠かせないことだと私は思っています。そのためにも私を含めた大人たちが、日本人が残してきた素晴らしい足跡を後世に伝えながら、自分身の生きる姿を通じて、日本人としての誇りをしっかりと守つていかなければならないと意を強くしています。

今月のオススメ図書

- 1 成功の要諦
〈稲盛和夫〉
- 2 愛—マザー・テレサ
日本人へのメッセージ〈女子パウロ会 編〉
- 3 欲求がない男は一流になれない！
〈井上裕之〉
- 4 日本でいちばん大切にしたい会社3
〈坂本光司〉
- 5 医者の嘘
〈石井光〉



- 6 小さな人生論 ポケット名言集
〈藤尾秀昭〉
- 7 ほんとうの野菜は緑が薄い
〈河名秀郎〉
- 8 光村ライブラリー1
花いっぱいになあれ ほか〈光村図書出版〉
- 9 つるのおんがえし
〈ボブラ社〉
- 10 シンデレラ
〈那須田淳 訳／北見葉胡 絵〉



●クロック倶楽部 上熊本店／後藤正和さん

今回で2回目の参加となり、普段あまり接することのない県外の仲間たちと交流する良い機会となりました。親日で知られる台湾ですが、訪れて初めて知ることが多く、とても勉強になりました。

まず、日本軍人が神として祀られている飛虎將軍廟は、エピソードを聞くのも初めてで、日本人として誇らしく、嬉しく感じるとともに感動しました。八田氏のダム建設でのエピソードも非常に壮大で、常人には及ばない偉業を成し遂げて現地の農業改革を起こしたことなど、とても勉強になりました。戦時中は日本統治下の植民地であったにもかかわらず、親日的であることに納得できました。

台湾に限らず、日本から世界各国に対して暮らしを豊かにするための技術提供が行われており、そのGIVE&GIVEが今の日本をつくっていると感じます。見て、聞いて、体感した今回の見聞を自分自身の糧として活かせるよう、感謝の気持ちを忘れないように心がけます。



ボナー 海外研修旅行in台湾



ボナーのカラオケ・飲食部門の社員を対象とした海外研修旅行が今年も行われました。社員54名の他、取引先の方々も6名参加されました。今回の行先は台湾で、第1班は1月19日、第2班は2月2日に出発し、2泊3日の日程でした。

初日は高雄の市内観光や夜市見学を楽しみました。2日目には、戦時中に亡くなった日本人が神様として祀られている「飛虎將軍廟(ひこしょうぐんびょう)」や日本人の八田與一(はったよいち)氏が建設した烏山頭(うざんとう)ダムなどを見学しました。3日目には世界4大博物館の故宮博物院を訪問しました。夜の食事会では社員の自己紹介や出し物で盛り上がり、よく遊び、よく学んだ研修旅行となりました。



内山さわやか会

タイ・バンコク 研修旅行 Thailand



1月24日から28日にかけて、内山さわやか会では昨年11月にタイ・バンコクにオープンした「かんできや スクンビット店」の視察を兼ねて研修旅行が行われ、相談役の内山社長をはじめ会員の方々10名と一緒に参加しました。世界で2番目にすごいと言われる交通渋滞を経験しながら、バンコク市内のエメラルド寺院や王宮、世界文化遺産のアユタヤ遺跡など、様々な観光地を視察しました。

「かんできや」では、ボナーの森常務と久々の再会を果たし、現地の社員を激励しながら日本で食べるのと変わらない美味しい食事をとることが出来ました。スタッフ全員に愛嬌があり、店内の掛け声もすべて日本語で、本当にタイの店にきたのかと思うほど違和感がありません。森常務の教育がタイ人スタッフにも行き届いているのを実感しました。訪問した時は満席で、ビルの中でもその一角だけ特に活気のある様子でした。(本社経理部・時 純憲)



おたよりの ご紹介 ☆

お客様からいただいた素敵な
おたよりをご紹介します

さわやかむなかたのもり

父が昨年10月に入居いたしました。入居の日は12時に到着して昼食をいただく予定でしたが、1時間も遅れてしまい、急いで部屋へ…。すると入居者の皆様が食事をとらずに父の到着を待っていてくださいました。父のためにくす玉やちらし寿司などを作って迎えて下さり、感激致しました。職員の皆様が入居者の皆様に対し、とても親切、丁寧に接しておられる様子を拝見して、安心致しました。おかげで父も手厚く介護していただいております。職員の皆様に感謝しております。親身に介護していただき、私たち家族に対しても温かく接していただいております。

父の面会に行くとき、お忙しいのにお茶を出してくださり、父の様子を話してくださり、帰る時にも丁寧に送ってくださって恐縮しております。部屋も季節に応じた飾りつけをしたり、花が置かれていたり、明るくて落ち着いた雰囲気です。父の健康状態にも気をつけていただき、先日は深夜にもかかわらず病院に付き添っていただきました。いい施設に入居でき、大変嬉しく思っております。ありがとうございます。
(福岡県宗像市・永石様より)

クロック倶楽部 相模原店

ちょっと早めに入店しただけいそべさんは嫌な顔をせず、とっても良かったです。料理提供のタイミングが絶的!他のカラオケ店では曲の途中ということが多かったので、感動しました!靴を脱いで歌うことが出来て、嬉しかったです。料理も美味しい!カリカリポテト最高です!(神奈川県相模原市・水川様より)

クロック倶楽部 下関武久店

誕生日のハガキを利用させていただきました。ささきさんは愛想がとてもよく、料理等の説明も的確でした。店員さん達はいつも、料金説明をキチンとしてくれますよ!客の立場に立って、とても良い店ですね。
(山口県下関市・吉永様より)

クロック倶楽部 川宮店

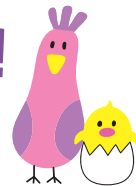
まつむらさんは中学生の私たちにも丁寧に接客してくれました。いつも受付の時、丁寧に説明してくれて、どうしたら安くなるか教えてくれて助かっています。
(福岡県田川郡・佐藤様より)

クロック倶楽部 北谷店

ずけらんくんは、いつもニコニコ対応がいいです。娘や孫とのカラオケが大好きです。料理がとても気に入っています。今年もカラオケで元気になりたいおばあちゃんです。明けましておめでとうございます。益々のご発展をお祈りします。
(沖縄県北谷町・仲間様より)

Welcome, Little Princess!

我が家のお姫様



ののか 辻 希々花ちゃん

●平成26年 11月7日生まれ(女の子)

待望の第一子が産まれました。2212グラム、45センチと小さく産まれましたが、元気に育っています。未来に希望を持って花のように周りを明るくする、愛される女性になってほしいです。

ののかちゃんのママ

さわやか桜館/介護職員・辻 貴子



車いす贈呈式

大畠壱番館

1月21日、日本生命保険相互会社・労働組合北九州支部の皆様より、さわやか大畠壱番館に車椅子を寄贈して頂きました。昨年1月に続いて今回で2台目の寄贈となります。

当日は施設内で贈呈式を行い、日本生命の北九州支社から松原敬太営業部長、南口侑輝主任、松本梨沙様が来館されました。さわやか倶楽部の本社からは川村部長、執行部長が出席し、大畠壱番館のご入居者の皆様も参加され、盛大に行われました。入居者様によるウェルカムメッセージの掲示や歌の披露、館内の案内もあり、予想外のおもてなしにたいへん喜んで頂けました。日本生命の皆様のご厚意に感謝し、大切にさせていただきます。(さわやか大畠壱番館・鬼松卓司)



東証IPOフォーラム in 北九州

東京証券取引所が北九州市で開催する、将来上場を検討している企業向けのセミナーにて、当社の内山社長が講演を行います。

日時 平成27年3月5日(木) 14:30～

会場 ステーションホテル小倉

定員 60名程度(参加費無料)

申込 下記のURLから申込できます。

http://www.tse.or.jp/listing/b_listing/seminar/

お問合せ (株)東京証券取引所 上場推進部 IPOセンター

☎050-3377-8014

一人で悩まないで!
あなたのお悩み
話してみませんか?



さわやか

相談室

お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております!

電話番号

090-9497-5764

メール

sawayakasoudan@softbank.ne.jp